

地方公共団体名： 高松市

○提案内容

(1)実現したい島のビジョン・方向性	
タブレット端末を用いたオンライン診療 現状、女木・男木診療所には、将来的な医師不足や診療所医師では専門外の治療・診断ができない、診療時間が半日と短いことなどから、往診や電話相談等柔軟な対応が困難であるという問題がある。 一方で地域住民からは、緊急時等を考え医者に常駐してほしい、住み慣れた地域で最後まで暮らしたいなどの要望がある。 そこで地域住民の意向を踏まえ診療等の利便性の向上を図るため、診療時間の見直し及びオンライン診療を行うことで、女木島・男木島で生活する中での不安を軽減することができ、また、住み慣れた地域での暮らしを最後まで続けることができる診療体制を目指している。	
(2)新技術の導入により解決したい離島の課題	課題の 分類
<ul style="list-style-type: none"> ・一つの島あたりの診療時間が短く、往診の依頼や電話相談がしにくい ・将来的に診療所医師、看護師の担い手が不足する見込み ・島民の高齢化に伴い、将来的に診療所への通院困難者が増える見込み ・女木島・男木島の中で一生を終えたいという島民の思いがあるが、医療設備の関係等で島の中で暮らすには不安がある。また、病状により医療設備の整った島外の病院へ移らなければならない。 	下記のうち、該当するものを○で囲んでください。 交通・モビリティ 物流 産業 担い手確保・人材育成 健康・医療 教育 観光 環境 エネルギー 防災 その他

(3) 新技術の導入による課題解決の方向性(イメージでも可)

- ・一つの島あたりの診療時間が短く、往診の依頼や電話相談がしにくい
→女木や男木にいてもオンラインによる診療を受けることができる
- ・将来的に診療所医師、看護師の担い手が不足する見込み
→可能であれば高松市内の医療機関とオンライン診療をつなぎ、治療を受けることができるようになる
- ・島民の高齢化に伴い、将来的に診療所への通院困難者が増える見込み
→自宅にいても診療を受けることができる。
- ・女木島・男木島の中で一生を終えたいという島民の思いがあるが、医療設備の関係等で島の中で暮らすには不安がある。また、病状により医療設備の整った島外の病院へ移らなければならない。
→オンライン診療を一日受けることができれば不安感も軽減すると思われる。また、高松市の医療機関とオンライン診療ができれば、島の中でより長く時間を過ごすことのできる可能性が高くなる。

(4) その他

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
健康福祉局 国保・高齢者医療課	近藤	087-839-2311	saaya_11225@city.takamatsu.lg.jp kokuho@city.takamatsu.lg.jp